様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供
主な取組	市町村における観光危機管理計画策定支援		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
観光危機管理体制の強化のため、観光危機管理計画の策定に向けた市町村勉強会を開催するとともに、観光危機管理対応訓練を実施する。	県,市町村	観光危機管理計画の策定に向けた市町村勉強会の開催、観光危機管理対応訓練の実施		
		観光危機管理計画策定市町村数（累計）		
		3市町村（15市町村）	5市町村（20市町村）	5市町村（25市町村）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,859	27,454

予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	28,445

令和6年度活動内容

観光危機管理計画の策定に向けた市町村勉強会を開催し、図上訓練など観光危機管理対応訓練を実施した。

令和7年度活動計画

観光危機管理計画の策定に向けた市町村勉強会を開催し、図上訓練など観光危機管理対応訓練を実施する。

活動指標名	観光危機管理計画策定市町村数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		観光危機管理計画の策定に向けた市町村勉強会を開催し、図上訓練など観光危機管理対応訓練を実施した。
	1市町村（17市町村）	1市町村（18市町村）	1市町村（19市町村）	５市町村（25市町村）	20.0%	大幅遅れ	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
県として、沖縄本島全域、離島圏域で策定支援に向けた説明会を実施したものの、目標値には到達しなかった。しかしながら、観光危機管理対応の機運の高まりを受けて、１１月に実施した観光客帰宅支援に係る図上訓練においては、市町村の参加者は過去最高となった。観光危機管理計画の策定に向けた市町村勉強会とともに、観光危機管理体制の強化につなげていく契機となった。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○令和６年度から南部、中部、北部管内の市町村に対し、事業説明会を実施、観光危機管理計画未策定の市町村に対する機運醸成・策定支援に務めていく。	事業説明会について、沖縄島全域（北部・中部・南部　５月）　宮古・八重山圏域（7月）久米島（10月）で実施した。

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	市町村への事業説明会を通じて、観光危機管理とは何か、災害危機発生時の行政の役割・求められる事は何かについて、未策定の市町村に策定を促していく必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	令和７年度においても、沖縄本島全域、離島圏域で、事業説明会を実施し、観光危機管理計画未策定の市町村に対し、計画の必要性やメリットを具体的に伝えて、継続的なサポートを実施していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供
主な取組	観光関連団体との観光危機管理・対応に関する協定の締結		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化のため、観光関連団体との協定締結や観光関連団体へのセミナー等の開催するとともに、観光危機管理対応訓練を実施する。	県,観光関連団体	観光関連団体との協定締結、観光関連団体へのセミナー等の開催、観光危機管理対応訓練の実施		
		観光関連団体との観光危機管理・対応に関する協定締結数（累計）		
		1団体	1団体（2団体）	1団体（3団体）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,859	27,454

令和6年度活動内容

観光関連団体との協定締結、観光関連団体へのセミナー等の開催、観光危機管理対応訓練の開催した。

予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	28,445

令和7年度活動計画

観光関連団体とのネットワーク会議の開催、観光関連団体へのセミナー等の開催、観光危機管理訓練の開催

活動指標名	観光関連団体との観光危機管理・対応に関する協定締結数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		観光客の帰宅支援について、海路で県外へ避難できるように船会社と協議を行った。また、連携を強化するために、観光危機管理ネットワーク会議へ参画いただくとともに、帰宅支援の図上訓練を実施した。
	0団体	0団体（０団体）	0団体	１団体（３団体）	0.0%	未着手	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
帰宅支援に係る協定が締結に至らなかったため、未着手となったものの令和６年11月に実施した図上訓練において、沖縄県が抱える特殊事情（陸路での避難ができない）が共有できたことで、今後の協定締結に向けて一歩前進したものと考える。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○沖縄ツーリズム産業団体協議会、沖縄観光協会等協議会などに実施したアンケート結果を通じて、観光危機管理対応訓練の実施や観光関連団体との協議等を実施し、協定の締結にむけた取組を行った。	協定の締結にむけた新たな取組として、観光危機管理全般を包含する観光危機管理ネットワーク会議を発足させ、関係機関との連携強化を図った。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	帰宅支援を想定した協定について、締結には至らなかったため、図上訓練で浮き彫りとなった海路での県外避難の課題の解決に向け、協定締結に向けて着実に進めていく必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	協定締結に向けて課題となる事由を整理し、解決を通じた協定締結に繋げるため、観光危機管理ネットワーク会議を立ち上げ、同会議を通じて連携促進及び支援を行っていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供
主な取組	ICTを活用した観光危機情報の収集・発信		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
ICT等の活用により観光危機管理体制の強化を図るとともに、迅速な対応が可能となるよう、県・市町村の情報共有を目的としたコミュニケーションツールの導入を促進する。	県,市町村,観光関連団体	県・市町村の情報共有のためのコミュニケーションツールの導入		
		コミュニケーションツールへの参加市町村数（累計）		
		20市町村	5市町村（25市町村）	5市町村（30市町村）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,859	27,454

予算事業名	観光危機管理体制構築支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	28,445

令和6年度活動内容

運用上の課題を整理しながら、図上訓練や実際の災害対応において、「LoGoチャット」を活用した情報収集・発信に取り組んだ。

令和7年度活動計画

運用上の課題を整理しながら、「LoGoチャット」を活用した情報収集・発信について、引き続き図上訓練や実災害への対応等に活用する。

活動指標名	コミュニケーションツールへの参加市町村数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年度は新たに５自治体へ同ツールを導入して、情報収集・発信に努めた。
	0市町村	23市町村（23市町村）	5市町村（28市町村）	５市町村（30市町村）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

同ツールを導入することで、災害発生時の気象情報や観光客向けの情報を、速やかに市町村に共有することができた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○令和６年７月までに全市町村による本格運用を目指し、市町村説明会を実施していく。	市町村に対して、運用に係る説明会を実施し、参加市町村数の増加に繋げた。 （41市町村中28市町村が参加）

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	まだ導入できていない市町村に対して、周知啓発に努めていく。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	市町村向けの説明会や周知活動を実施して、参加市町村数の増加に取り組んでいく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供
主な取組	外国人観光客の傷病時等における多言語対応		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・観光客の安全・安心を確保するため、様々な観光関連リスクを想定した危機管理体制の強化と外国人を含む観光客向けの災害情報の提供について、市町村と連携して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
外国人観光客が急な病気やケガに見舞われた場合でも、安心して沖縄観光を楽しめるよう、受入観光の整備や、外国人観光客を受け入れる医療機関等の負担軽減を行うことで、世界水準の観光リゾート地に相応しい受入体制を構築する。	県	医療機関における電話等遠隔通訳のためのコールセンターの設置		
		コールセンターの応答率		
		90.0%	90.0%	90.0%

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	インバウンド医療受入体制整備事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	27,679	27,822

予算事業名	インバウンド医療受入体制整備事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	27,262

令和6年度活動内容

インバウンド対応医療通訳コールセンターの運営と併せて、インバウンド傷病者対応についての観光事業者及び医療事業者向けセミナーを開催した。

令和7年度活動計画

クリニックやホテル事業者等にも本事業を周知する。セミナーなどを開催し、医療機関と観光事業者の意見をすり合わせる。

活動指標名	コールセンターの応答率		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		コールセンター運営と海外保険加入促進のPR活動を年間を通して実施することで、インバウンドの急なケガや病気に対応するとともに、医療費の未払い防止に努めた。
	99%	100%	97.4%	90.0%	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

コールセンターの応答率について、回線数を１回線2チャンネルとし、設定したチャンネル数以上の着信があった場合は、音声案内を活用し、不通とならないようにした点が功を奏し、応答率の向上、ひいては、目標達成につながったと考える。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○R6年度より、委託先が変更となるので、R5年度の課題を踏まえて、傷病発生時に役立つ情報やツールの提供の強化を委託事業者と図る。	観光情報を発信しているSNS「LIVE　JAPAN」を活用し、効率的かつ効果的に旅マエの情報発信の強化を図った。 また、傷病発生時に役立つ初動対応マニュアルをセミナー等で共有することにより、ツール提供の強化を図ることができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
③ 他地域等との比較（内部要因）	県内でも、本島の大規模病院と離島のクリニックでは人材不足や周知といった点で大きく環境が異なっており、離島の方が受入体制は脆弱ではあるが、訪日外国人観光客の多くはクリニックを利用する傾向にある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	本島内だけでなく離島にも本事業を周知し、認知していただくとともに、セミナーや意見交換会等において離島からの観光事業者の参加人数をより増加させる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○空港・港湾におけるCIQの迅速化等
主な取組	CIQの常設化及び運営体制の強化		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・空港・港湾においては、多数の外国人旅行者等が同時に入域するスムーズでストレスのない玄関口として、CIQの迅速化等に取り組みます。各種感染症の侵入防止のための検疫・防疫体制及びセキュリティ対策の重点的強化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
CIQ常設に向けた検疫指定を目指すために国へ要望するとともに国際線就航に備えた働きかけを行っていく。	国,県,民間事業者等	空港の検疫指定に向けた関係機関との調整及び要請		
		国への要請回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	—			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
—	—	—	—	

予算事業名	—		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—	—	

令和6年度活動内容

ＣＩＱ常設に向けた検疫指定について国へ要望する。国際線就航やプライベートジェット機の乗り入れがあるごとに検疫所への業務の協力要請を行った。

令和7年度活動計画

下地島空港のCIQ常設化に向けて関係機関との調整をする。国際線就航やプライベートジェット機の乗り入れがあるごとに検疫所へ業務協力要請を行う。

活動指標名	国への要請回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		国へCIQの「審査体制の強化」および「指定港化」の要望を計３回行った。 また、国際線就航にあたり、那覇検疫所各出張所へ検疫業務の協力要請12回を行った。
	1回	9回（10回）	15回（25回）	１回（３回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

国へCIQ「審査体制の強化」および「指定港化」の要望を３回行い、検疫所へ業務の協力要請を12回行った。検疫所の業務の協力要請を行ったことで９度のチャーター便運航と３度の定期便の運航があった。また、指定港化の要請を行ったことで新石垣空港管理事務所が検疫飛行場に指定された。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
不定期便の就航も増えていることから、引き続き、国へのCIQ「審査体制の強化」および「指定港化」を要望する。また、国際線の就航があるごとに検疫所へ協力要請を行い、実績を積み重ねていく。	令和６年度は新石垣空港、下地島空港において国際線の就航にあたり、那覇検疫所石垣出張所または、那覇検疫所平良出張所へ業務の協力要請を12回行い、検疫業務が実施されることで国際線の就航ができた。 内訳：新石垣空港４回、下地島空港８回

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）		４　取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	全国的に訪日外国人観光客数はコロナ禍を上回っている。下地島空港においては韓国路線が就航しており、CIQの常設化及び運営体制の強化に向け、さらにCIQ官署への働きかけに取り組む必要がある。	⑧ その他	国際線定期便の運航再開や新規路線の就航もあることから、引き続き、下地島空港の指定港化について、国へ要望する。また、国際線の就航があるごとに検疫所へ協力要請を行い、実績を積み重ねていく。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	①「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備
			施策の小項目名	○空港・港湾におけるCIQの迅速化等
主な取組	本部港のクルーズ船における入国環境の整備		対応する成果指標	観光客が「沖縄は安全・安心であると感じる」割合
施策の方向	・空港・港湾においては、多数の外国人旅行者等が同時に入域するスムーズでストレスのない玄関口として、CIQの迅速化等に取り組みます。各種感染症の侵入防止のための検疫・防疫体制及びセキュリティ対策の重点的強化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
本部港は、国より港湾法に基づく国際旅客拠点形成港湾に指定されている。官民連携により国際旅客船の受入体制を整備し、スムーズでストレスのない玄関口として、CIQ体制の強化を図る。	国,県,民間事業者等	非検疫港である本部港におけるクルーズ船寄港に関するファーストポート対応に向けた関係機関との調整		
		本部港のファーストポート対応		
		関係機関調整	関係機関調整	ファーストポート化

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	本部港クルーズ船安全・安心受け入れ促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	—	2,626

予算事業名	本部港クルーズ船安全・安心受け入れ促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	17,873

令和6年度活動内容

本部港に寄港予定の国際クルーズ船を安全・安心に受け入れるため、ＣＩＱ体制の連携強化に係る関係機関と調整した。

令和7年度活動計画

本部港に寄港予定の国際クルーズ船を安全・安心に受け入れるため、CIQ体制の連携強化に係る関係機関と調整する。

活動指標名	本部港のファーストポート対応		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		CIQ体制強化を目的とした各種機関との連携強化を行い、保安警備、衛生調査業務を実施した。
	関係機関調整	関係機関調整	国際クルーズ船の受け入れ	ファーストポート化	66.0%	やや遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ファーストポート化を目指すために税関、入管、検疫に係る各種関係機関と調整し、CIQの三要素のうち、税関、入管を実施したことや国際クルーズ船の受け入れを実現したことから66%の達成率でやや遅れとする。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
国際クルーズ船を安全・安心に受け入れるため、ＣＩＱ体制強化を目的とした保安警備、港湾衛生等について、関係機関との連携強化を図る。	国際クルーズ船を安全・安心に受け入れるため、関係機関との連携を強化し、税関、入管との調整し、クルーズ受け入れを実現した。また、埠頭保安規定の策定、港湾衛生調査の実施等、関係機関と調整をおこなった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	感染症の患者が発生した場合に備えて、検疫所、保健所及び病院関係者との連携強化を図る必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	感染症の患者が発生した場合に備えた、検疫所、保健所及び病院関係者との連絡体制を構築するために関係機関に連絡調整を適時行い、連携強化を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	地域観光の支援		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	・沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内各地域の観光振興を図るため、離島観光振興会議等による各市町村との意見交換を行い、地域の観光振興の方向性及び課題を共有する。 また、専門的な知識を持つ観光まちづくりアドバイザーを市町村等へ派遣し、市町村等が抱える課題等に対し助言及び指導を行う。	県	市町村、観光協会、観光関連団体との意見交換		
		市町村、観光協会、観光関連団体との意見交換件数（累計）		
		20件	22件（42件）	25件（67件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	地域観光支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	2,411	1,770

予算事業名	地域観光支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	1,593

令和6年度活動内容

離島観光振興会議や県内市町村等と意見交換会を行い、課題の共有を図った。また市町村等が抱える課題に対しアドバイザーを派遣し解決の支援を行った。

令和7年度活動計画

離島を含む県内市町村等と意見交換会を行い、課題の共有を図る。また、市町村や観光協会等が抱える課題に対しアドバイザーを派遣し解決の支援を行う。

活動指標名	市町村、観光協会、観光関連団体との意見交換件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内市町村や観光協会等と意見交換を行い、課題の共有を図った。 またアドバイザー派遣の周知を早めに行い、利用促進を促した。
	26件	25件（51件）	24件（75件）	25件（67件）	96.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

出張で遠方に行く際などの機会を有効的に使い、また対面、オンライン問わず積極的に意見交換を行ったため「順調」となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○沖縄県観光まちづくりアドバイザー派遣要綱が改正され、各自治体が利用しやすい制度設計となったことを周知し、アドバイザー派遣数を増やす。	要綱改正に加え、周知の時期を早めることにより、アドバイザー派遣の実績を前年度より大幅に伸ばすことができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	観光まちづくりアドバイザー派遣を希望する市町村等とアドバイザーの間で日程調整に苦慮する場面があった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	沖縄県観光まちづくりアドバイザーの候補数を増やし選択肢を増やすとともに、利用しやすい体制を整える。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	観光案内所運営事業		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	・沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画 活動指標（アウトプット） R4	R5	R6
那覇空港国内線・国際線観光案内所および沖縄観光情報センターにおいて、交通情報や地域の観光情報等のきめ細かな観光案内サービスを多言語で提供し、観光客の満足度の向上やリピーターの増加を図る。	県	観光案内所の継続的な運営		
		観光案内所の運営		
		運営	運営	運営

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	観光案内所運営事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	100,452	103,964

予算事業名	観光案内所運営事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	102,620

令和6年度活動内容

那覇空港国内線・国際線観光案内所および沖縄観光情報センターにおいて、交通情報や地域の観光情報等の案内サービスを多言語で提供した。

令和7年度活動計画

那覇空港国内線・国際線観光案内所および沖縄観光情報センターにおいて、交通情報や地域の観光情報等の案内、観光危機管理についても多言語で提供する

活動指標名	観光案内所の運営		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		那覇空港国内線・国際線観光案内所および沖縄観光情報センターにおいて、交通情報や地域の観光情報等のきめ細かな観光案内サービスを多言語で提供した。
	運営	運営	運営	運営	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

毎月、観光案内所の定例会を開催し、離島圏域の観光協会をゲストに招き、インバウンド対応などケースにおける多言語文例集の紹介を行った。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　多様化する観光客のニーズに対して、令和６年度からは、同センターを「観光案内所」と統合することで、迅速な情報提供の連携と対応を図る。	○毎月開催する観光案内所定例会において、多言語コンタクトセンターに照会のあった事例を共有し、観光課題解決に向けて取組を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	観光客へのきめ細かなサービスの向上のため、観光協会とも連携し、地域ごとの観光課題の把握に務める必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	毎月開催する観光案内所定例会において、市町村観光協会に参画を促し、各地域における観光課題の共有、解決案等の話し合いを行い、観光案内のサービス向上を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	Be.Okinawa多言語コンタクトセンター		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	・沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
外国人観光客が安全安心に観光を楽しめる環境を構築するため、観光情報の提供、通訳サービス、台風・災害時の対応サポートを、観光案内所と統合して行う。	県	観光客の利便性向上を図り、ロイヤルカスタマーへと繋げるAIチャットボットの運営		
		多言語コンタクトセンターの運営		
		運営	運営	運営

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	Be.Okinawa多言語コンタクトセンター運営事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	40,500	45,365

予算事業名	Be.Okinawa多言語コンタクトセンター運営事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	22,740

令和6年度活動内容

多言語コンタクトセンターを運営し、電話・SNS・チャットbot等による外国人観光客に対する通訳サポートを行った。

令和7年度活動計画

外国人観光客が安全・安心に沖縄旅行ができる環境をサポートするために、県内事業者との通訳や台風災害時の情報発信を行い満足度向上を図る。

活動指標名	多言語コンタクトセンターの運営		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄旅行前、旅行中の外国人観光客からの問い合わせ対応を、電話・メール・チャットで対応するとともに、WebサイトやSNSを活用して、FAQ発信を行った。
	運営	運営	運営	運営	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

委託事業者と協議を行い、限られた予算で仕様書に沿った多言語コンタクトセンターの運営を実施できた。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　人材を確保し、多様化する観光客のニーズに対して、令和６年度からは、同センターを「観光案内所」と統合することで、迅速な情報連携と対応を図る。	外国人観光客がストレスフリーで、安全安心に県内観光を行える様、観光案内所と多言語コンタクトセンターを統合した結果、旅中周遊のワンストップサービスを取り入れることができた。また、旅中の問い合わせを、有人対応とボットで割り振る体制を構築することで、一層のサービス向上に努めた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	チャットボット及びFAQシステムの利用実績において、WEBからの問い合わせが一番多く、次点でFacebookとなった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	チャットボットのログを分析し、外国人観光客の沖縄旅行に関するニーズを抽出し、自動学習機能による問い合わせが多い質問をFAQ形式で掲載して対応していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○県民一人ひとりのホスピタリティ意識を高める運動の推進
主な取組	県民意識の啓発		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	・観光客を受け入れる県民一人ひとりのホスピタリティ意識を高める運動を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県民の観光・コンベンション意識の高揚を図り、県民一丸となった受入体制づくりを推進するため、かりゆしウェアの着用促進やクリーンアップ活動の推進等を行う。	県	県民啓発プロモーションの実施		
		Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションの実施件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光受入対策事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	27,679	21,669

令和6年度活動内容

県民の観光産業に対する理解を深め、観光客受入気運の醸成を図る為、Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションを実施した。

予算事業名	沖縄観光受入対策事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	21,993

令和7年度活動計画

県民の観光産業に対する理解を深め、観光客受入気運の醸成を図る為、Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションを実施する。

活動指標名	Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションの実施件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県民の観光産業に対する理解および関心を深めるとともに、観光客受入気運の醸成を図るため、Web、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションを実施した。
	4件	2件	3件（9件）	１件（３件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値１件に対し、実績３件だったため、順調と判定する。また、プロモーションの実施により県民の観光産業に対する理解および関心を深めるとともに、観光客受入気運の醸成を図り、観光客の満足度向上を目指した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
クリーンアップ申請に対し、ポリ袋や軍手などの支援を行う必要がある。 上記消耗品の在庫を常に確認し、団体のクリーンアップ活動支援についてスムーズに支援する必要がある。	クリーンアップ申請に対し、ポリ袋や軍手などの支援を行うため、消耗品の在庫を常に確認し、団体のクリーンアップ活動支援についてスムーズに支援した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	クリーンアップ活動支援のWeb、SNS等の各種メディアを活用した県民啓発プロモーションを積極的に実施できなかったため、周知強化を図る必要

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	より県民の興味をひくため、ポケモンを活用した県民啓発プロモーションの検討を行う。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	③多様な受入環境の整備
			施策の小項目名	○世界水準の観光地としての受入環境整備
主な取組	ユニバーサルツーリズムの推進		対応する成果指標	心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合
施策の方向	・本県は、平成19年２月に国内初となる「観光バリアフリー宣言」を打ち出し、‘誰もが楽しめる、やさしい観光地’をコンセプトとする各種の取組を実施しています。‘誰もが楽しめる、やさしい観光地’づくりを更に強化・発展させるため、障害者への的確な対応を含め、「観光困難者」を体系的に把握し、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進するなど、世界水準の観光地としての受入環境整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者による多種多様な受入環境整備を促進する。	県	観光事業者向けアドバイザー派遣の実施		
		アドバイザー派遣件数（累計）		
		5件	6件（11件）	7件（18件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	21,891	20,963

予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	18,793

令和6年度活動内容

観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行った。

令和7年度活動計画

観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行う。

活動指標名	アドバイザー派遣件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内の観光関連事業者を対象に高齢者及び障害者等の受入環境整備にかかるセミナー及びアドバイザー派遣を６回実施した。
	8件	7件	6件（21件）	７件（18件）	85.7%	概ね順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度は、アドバイザー派遣件数の目標７件に対し実績６件となり、進捗状況は概ね順調となった。オンライン開催及びアーカイブ動画配信形式とすることで、観光事業者が視聴できる機会を増やし、多くの事業者の受入環境整備に寄与した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○ユニバーサルツーリズムの対象者は今後も増加が見込まれることから、引き続き、観光関連事業者の受入体制強化を図る。 ○LGBTQ等性的マイノリティーの方の受入体制強化を図る。	高齢者及び障害者等の受入環境整備にかかるセミナー及びアドバイザー派遣を実施する他、「心のバリアフリー」認定制度にかかる周知等を行った。 セミナーのアーカイブを残すことで、オンラインの参加者計139名に加え、視聴回数409回と多くの事業者に参加いただけた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	「心のバリアフリー認定制度」については認知度の向上、認定取得にかかる手続きの煩雑さを解消する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	「心のバリアフリー認定制度」に関するセミナーについて、オンライン開催及びアーカイブに残すことで事業者が受講しやすい環境を整え、制度の認知度、手続きの煩雑さの解消を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	③多様な受入環境の整備
			施策の小項目名	○世界水準の観光地としての受入環境整備
主な取組	観光客向けの情報発信の強化		対応する成果指標	心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合
施策の方向	・本県は、平成19年２月に国内初となる「観光バリアフリー宣言」を打ち出し、‘誰もが楽しめる、やさしい観光地’をコンセプトとする各種の取組を実施しています。‘誰もが楽しめる、やさしい観光地’づくりを更に強化・発展させるため、障害者への的確な対応を含め、「観光困難者」を体系的に把握し、誰もが気兼ねなく参加できるユニバーサルツーリズムを推進するなど、世界水準の観光地としての受入環境整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者等による多種多様な受入環境整備を促進する	県	Webサイトや展示会等を活用した情報発信		
		情報発信件数（累計）		
		2件	2件（4件）	2件（6件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	21,891	20,963

令和6年度活動内容

観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行った。

予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	18,793

令和7年度活動計画

観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行う。

活動指標名	情報発信件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		おきなわユニバーサルツーリズムの認知度向上を図るため、展示会出展、WEBサイト等による情報発信、PR動画作成を行った。
	3件	3件（６件）	6件（12件）	２件（６件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
９月に東京都で開催された「ツーリズムエクスポ２０２４」及び11月に台湾で開催された「２０２４台北国際旅行博」に出展した。WEBサイトのアクセシビリティ向上を行い、視覚障がい等がある方々でも別途支援ツールを使わないでも閲覧しやすいような機能を導入することでにより情報発信に寄与した。PR動画の作成を行い目標を達成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○国内外で開催される展示会等へ出展し、ユニバーサルツーリズム先進地としての認知向上を図る。 ○PRツールの多言語化や既存のポータルサイトのアクセシビリティ向上を図り、誰もが容易に情報収集できるように改修する。	○国内外の展示会に各１回ずつ出展を行った。 ○ポータルサイトについて、視覚障がいのある方々でも別途支援ツールを使わなくても閲覧できるようアクセスビリティ向上を行った。また、英語・韓国語・繁体字・簡体字の多言語化による情報発信を行った。 ○PR動画作成を行った。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	ユニバーサルツーリズムの実現には、観光事業者だけでなく地域社会全体の理解と協力が必要である。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	ユニバーサルツーリズムの円滑な推進のために、県、市町村、福祉関係団体等と定期的な意見交換会を実施し、情報共有を図るとともに、協力体制を構築する。

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	③多様な受入環境の整備
			施策の小項目名	○質の高いサービスの提供
主な取組	ユニバーサルデザインの推進		対応する成果指標	心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合
施策の方向	・観光産業の高付加価値化に結び付く、障害の特性と多種多様なニーズに応じた受入環境、組織体制等の多面的な条件整備や、県民のホスピタリティを高めることによる質の高いサービスの提供に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者による多種多様な受入環境整備を促進する。	県	ユニバーサルツーリズム推進に係る取組状況調査の実施		
		調査の実施回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	21,891	20,963

予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	18,793

令和6年度活動内容

ユニバーサルツーリズム推進に係る取組状況調査を実施した。

令和7年度活動計画

ユニバーサルツーリズム推進に係る取組状況調査を実施する。

活動指標名	調査の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		観光関連事業者におけるユニバーサルツーリズムに係る取組状況を把握するため、調査を実施した。
	1回	1回（２回）	1回（３回）	１回（３回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内の宿泊事業者、観光施設事業者、交通事業者等を対象に取組状況調査を実施した。今年度は調査の回収率を高めるために電話による回答依頼を行った。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
より多くの回答を回収するために、調査の実施に際しては、事業者の負担とならないよう、事業者の意見も取り入れながら、R5年度で実施した方法以外にも効率的な調査手法、回収方法があるかどうか検討する。	事業者の負担を減らすためメール記載のURL及びQRコードからWEB調査を行った。 事業者がアンケートに疑義があればサポートできるよう体制を整えた。 電話での回答依頼を行い回答率の向上を図ることができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	WEB調査を導入したが、回収率が低かったため、回収率向上の検討を行うとともに、回答に関して疑義のある事業者へのサポートが必要となる。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	回収率向上に向けて、他事業で行っている調査方法を参考に調査方法の見直しを図る。また、事業者へのサポートとして、未回答の事業者に疑義等がないか連絡する等、回答へのサポートについても検討を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	③多様な受入環境の整備
			施策の小項目名	○質の高いサービスの提供
主な取組	県民のホスピタリティ向上		対応する成果指標	心のバリアフリー認定件数（累計） LGBTQに対する受入環境整備に取り組む施設割合
施策の方向	・観光産業の高付加価値化に結び付く、障害の特性と多種多様なニーズに応じた受入環境、組織体制等の多面的な条件整備や、県民のホスピタリティを高めることによる質の高いサービスの提供に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者等による多種多様な受入環境整備を促進する。	県	観光事業者向けセミナーの実施		
		観光事業者の参加者数（累計）		
		100人	110人（210人）	120人（330人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	21,891	20,963

予算事業名	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	18,793

令和6年度活動内容

観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行った。

令和7年度活動計画

観光関連事業者を対象としたセミナー開催やアドバイザー派遣を実施するとともに、沖縄ユニバーサルツーリズムに関する情報発信等を行う。

活動指標名	観光事業者の参加者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	210人	110人（320人）	139人（459人）	120人（330人）	100.0%	順調	高齢者及び障害者等の受入環境整備にかかる講義を実施し、139人が参加した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

オンラインの参加者139名、YouTubeのアーカイブ動画配信の視聴回数409回となり、進捗状況は順調となった。オンライン開催及びアーカイブ動画配信形式とすることで、観光事業者が視聴できる機会を増やし、多くの事業者の受入環境整備に寄与した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○ユニバーサルツーリズムの対象者は今後も増加が見込まれることから、セミナーやアドバイザー派遣事業の内容を充実させるなど、観光関連事業者の受入体制強化を図る。 ○PRツールの多言語化や既存のポータルサイトのアクセシビリティ向上を図り、誰もが容易に情報収集できるように改修する。	①高齢者及び障害者の受入、②食物アレルギー／乳児連れ家族の受入、③障害のある外国観光客の受入、④性的マイノリティ層の受入等のテーマでセミナーを実施した。また、県内の観光事業者等を対象に「心のバリアフリー」認定制度にかかる周知等を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	ユニバーサルツーリズムについては、まだ認知度が低いため、外国旅行客向けの対応を強化するほか、既存のポータルサイトによる情報発信についても、視覚障がい者等への対応を強化する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	PRツールは、英語、韓国語等で多言語化するほか、既存のポータルサイトは、視覚障がい等の方でも別途支援ツールを使用せずとも閲覧できるように改修して、誰もが容易に情報収集できるようにする。